

風評払拭に係る環境省の考え

5名の元首相が欧州委員会委員長に宛てた書簡（2022年1月27日付け）では、「福島第一原発の事故」による「福島での未曾有の悲劇と汚染」の例示として「多くの子供たちが甲状腺がんに苦しみ」と記載しています。環境大臣の書簡（令和4年2月1日付け）は、「福島第一原発の事故」と関連付けて「多くの子供たちが甲状腺がんに苦しみ」と記載することが、「差別や偏見につながるおそれがある」ことを指摘したものです。

福島県が実施している甲状腺検査により見つかった甲状腺がんについては、国内外の専門家会議により、現時点では放射線の影響とは考えにくいという評価がなされています。詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。

【参考】

原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）2020/2021 報告書

日本語版 PDF:

https://www.unscear.org/docs/publications/2020/UNSCEAR_2020_21_Report_Vol.II_JP.pdf

英語版 PDF:

https://www.unscear.org/docs/publications/2020/UNSCEAR_2020_21_Report_Vol.II.pdf

「県民健康調査」検討委員会

「県民健康調査」検討委員会における中間とりまとめについて

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocyosa-kentoiinkai.html>

第35回「県民健康調査」検討委員会（令和元年7月8日）について

甲状腺検査評価部会「甲状腺検査本格検査（検査2回目）結果に対する部会まとめ」について

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocyosa-kentoiinkai-35.html>

環境省ホームページ

放射線による健康影響等に関する資料

<http://www.env.go.jp/chemi/rhm/resources.html>

環境省では、福島県の子供たちの気持ちに寄り添うべく、放射線の健康影響に関する差別・偏見の払拭に取り組むとともに、甲状腺検査の対象者やご家族の多様な不安に応えるため、例えば二次検査を受ける方へのこころのサポートの実施体制を強化するなどの事業を行っております。今後とも、こうした取組を進めてまいります。